

★ 提案35に賛成の議論 ★

CALIFORNIA州の医療システムは危機に瀕しています

California州全土の農村部や都市部のコミュニティで、病院や医療クリニックが閉鎖されています。救急治療室は過密状態です。California州の40以上の病院が、分娩サービスの提供を停止しました。患者は重要な予防医療を受けるために何ヶ月も待たされ、専門医療が必要なときに予約を取ることができないことがよくあります。過去15年間で州が\$300億以上の医療資金を他の目的に転用してきたため、医療危機はさらに悪化しています。

この危機はCALIFORNIA州の子どもたちや最も弱い立場にある人々にとって最も深刻です

1,500万人以上のCalifornia州民がMedi-Calに依存して健康保険をカバーしています。その中には、州内の全児童の50%以上、低所得家族、高齢者、障害者が含まれます。しかし、十分かつ継続的な資金が不足しているため、Medi-Calの患者は、かかりつけ医、心臓専門医、がん医師、小児専門医、または整形外科医に診てもらうために何ヶ月も待たなければなりません。

提案35に賛成することで、税金を引き上げることなく、すべての人のために医療システムを改善するための専用資金が提供されます

提案35は、個人に対する税金を引き上げることなく、プライマリケアや専門医、地域の健康クリニック、病院、緊急治療室、家族計画やメンタルヘルスの提供者へのアクセスを保護し、拡大するための専用の継続的な資金を確保することで、最も緊急の医療優先事項に取り組みます。提案35は、2026年に期限切れとなる予定の健康保険会社への既存の課税を延長します。さらに、提案35はこれらの資金が医療以外の目的に流用されるのを防ぎます。

提案35に賛成することで、すべての患者に対する医療アクセスを保護し、拡大します

提案35は、以下のために資金を充てます：

- 患者が混雑したERや急患クリニックを主なケアの手段に頼らなくても済むように、予防医療へのアクセスを拡大すること
- 救急治療室での待ち時間を短縮すること
- 緊急対応時間を短縮するために、より多くの救急隊員や救急医療技術者を雇用すること
- プライマリケアと医師の診療所
- 地域の健康センター
- 産婦人科医やがん治療、心臓治療などの専門医療

- 家族計画
 - メンタルヘルス治療の拡充
 - 労働者不足に対応するための医療従事者の訓練
 - Medi-Cal患者向けのサービスにより、病院、医師、女性の健康センター、および地域クリニックへのアクセスを拡大
- 提案35の厳格な説明責任要件により、資金が患者ケアに使用されることが保証されます

提案35は、州がこれらの資金を医療以外の目的に転用することを防ぎ、収益の99%が患者ケアに使用されることを要求します。管理費は1%に制限されています。最後に、この措置では、資金が効果的かつ意図された通りに使われていることを確認するために、毎年の独立した業績監査が必要とされます。

提案35は、救急隊員、医療従事者、医師、看護師、および超党派の連合によって支持されています

提案35を支持しているのは：

- 国際EMTおよび救急隊員協会
- California州家族計画連盟
- California州医師会
- アメリカ小児科学会California州支部
- アメリカ産科婦人科学会 — 第IX地区
- アメリカ救急医学会California州支部
- California州プライマリケア協会
- La Clínica de la Raza
- Los Angeles郡地域クリニック協会
- California州歯科医師会
- California州家庭医師学会

提案35への賛成は、私たちの緊急医療危機に対処し、すべてのCalifornia州患者の医療を保護するのに役立ちます。

www.VoteYes35.com

Dr. Yasuko Fukuda, 会長

アメリカ小児科学会California州支部

Jack Yandell, 緊急医療技術者 (EMT)

国際EMTおよび救急隊員協会

Jodi Hicks, 最高経営責任者

California州家族計画連盟

★ 提案35に反対の議論 ★

提案35に反対する意見は提出されていません。